

こんにちは。歴史資料室の村上です。

みなさんは「キセキ遺留品返還プロジェクト」という活動をご存じでしょうか。これはアジア太平洋戦争の際にアメリカ兵が持ち帰った日本兵の遺留品を日本に返還する取り組みで、これまでも多くの遺留品が遺族や関係者の元に返還されています。その活動は昨年8月17日付の『東奥日報』でも紹介されました。

この度、青森市民図書館では「キセキ遺留品返還プロジェクト」から1940年頃に撮影されたとみられる2枚の写真の寄贈を受けました。1枚は軍服を着た男性を撮影したもので、写真の裏に「青森市博労町 光明館 柴田写真場」の文字があります。もう1枚の写真は青森市の街並みを撮影したもので、文芸館・奥村商店・丸治玩具店の看板が確認できることから、現在のモルトン迎賓館付近（青柳2丁目）から西側（本町5丁目方面）を撮影したものと考えられます。

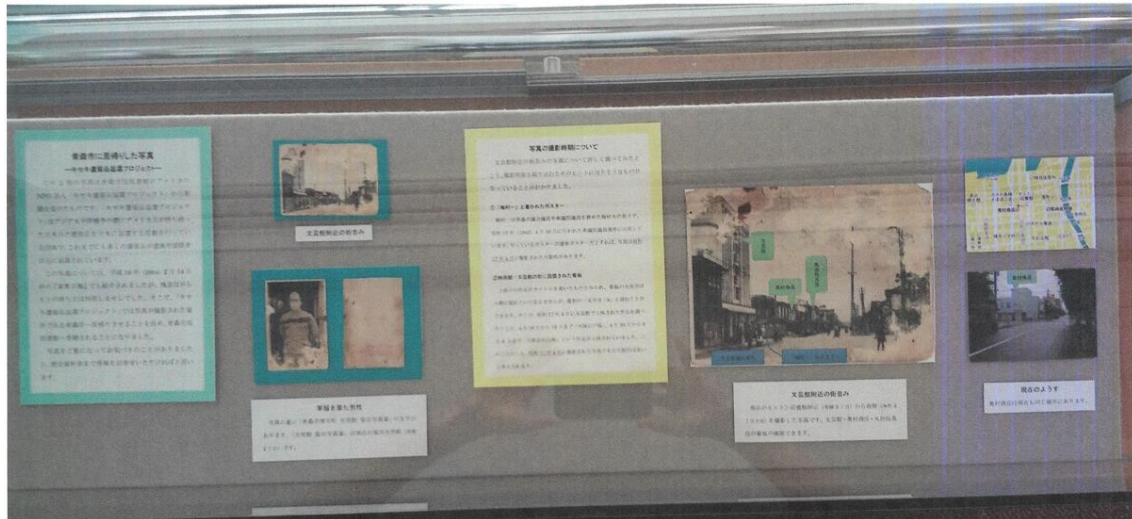
この2枚の写真については、平成16年（2004）2月14日付の『東奥日報』でも紹介されましたが、残念ながら軍服を着た男性の身元は判明しませんでした。そこで、「キセキ遺留品返還プロジェクト」では写真が撮影された場所である青森市へ里帰りさせることを決め、青森市民図書館へ寄贈されることになったのです。

さて、メールマガジンで紹介するにあたって写真を詳しく調べてみたところ、街並みを撮影した写真に撮影時期を絞り込むためのヒントになりそうなものが写っていることがわかりました。

一つは「梅村一」と書かれたポスターです。梅村一は青森市議会議員や衆議院議員を務めた梅村大の息子で、昭和17年（1942）4月30日に行われた衆議院議員選挙に出馬しています。写っているポスターが選挙ポスターだとすれば、写真は昭和17年4月に撮影された可能性があります。

もう一つは映画館である文芸館の前に設置された看板です。上映中の作品のタイトルを書いたものとみられ、看板の大部分は人物に隠れていて見えませんが、最初の一文字は「天」と読むことができます。そこで、昭和17年4月に文芸館で上映された作品を調べたところ、4月16日から19日まで「天保江戸桜」、4月30日から5月6日まで「天野屋利兵衛」という作品が上映されていました。このことから、昭和17年4月に撮影された写真である可能性は高いと考えられます。

2 枚の写真は本日から 8 月 24 日（月曜日）まで 8 階展示コーナーで展示しますので、市民図書館へお越しの際はぜひご覧ください。そして、写真をご覧になってお気づきのことがありましたら、歴史資料室まで情報をお寄せいただければと思います。



2020 年 8 月に受領した資料を合成いたしました。2024 年 5 月 24 日、キセキ遺留品返還プロジェクト。CTJ